

南九州市食育・地産地消推進計画（第3期）

〈計画期間：令和5年度～令和9年度〉

☆計画策定の趣旨

国「食育推進基本計画」や、県「かごしまの“食”交流推進計画」を基に、市民が生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育むことができる社会の実現を目指すために、南九州市の地域の特性を生かした食育の推進、また地元で生産されたものを地元で消費する地産地消の取り組みを推進するために、「南九州市食育・地産地消推進計画（第3期）」を策定します。

☆基本理念

豊富な食の恵みに感謝し 健やかな心と身体を育み
笑顔かがやく いきいきまちづくり

☆基本方針

①食への関心や感謝の気持ちを育み、食を通して豊かな心と健全な身体をつくる

食育や地産地消は、健康や文化、農業など様々な分野と深い関わりがあります。このため日々の暮らしの中で食育や地産地消を学び実践していくために、生活シーンに合った望ましい食生活の実現を図ります。

②ライフステージや生活実態に応じた食育の推進

食に対する考えや習慣は、様々な体験や学習を通じながら長い時間かけてつくられていきます。私たち一人ひとりが、生涯にわたって健康で楽しく過ごすためには、ライフステージごとに「食」や「農」に関心を持ち学びながら生活していくことが大切です。この計画では、ライフステージに応じた取り組みを推進します。

③地元産農林水産物の利用推進

本市は、県内でも有数の農業生産地帯であり、豊富な食資源に恵まれています。地元で採れた農林水産物は、身近で生産者の顔が分かりやすく、市民にとって安心・安全な食材です。これら地元で生産される農林水産物を利用することで、農林水産業や食品産業などの産業振興のみならず、新鮮で季節感あふれる多彩な食事を楽しみながら、市民の心身の健康づくりや地元への愛着を深められるよう努めます。

④食文化の伝承活動

食文化の伝承は、人と人の絆を育み、地域への思いを強める役割を果たします。これまでも地場産物、郷土料理を取り入れた学校給食が提供されています。このような取り組みを今後も継続していくことで、食文化の伝承を積極的に推進します。

3

すべての人に健康と福祉を

2

飢餓をゼロに

4

質の高い教育をみんなに

12

つくる責任 つかう責任

3

すべての人に健康と福祉を

12

つくる責任 つかう責任

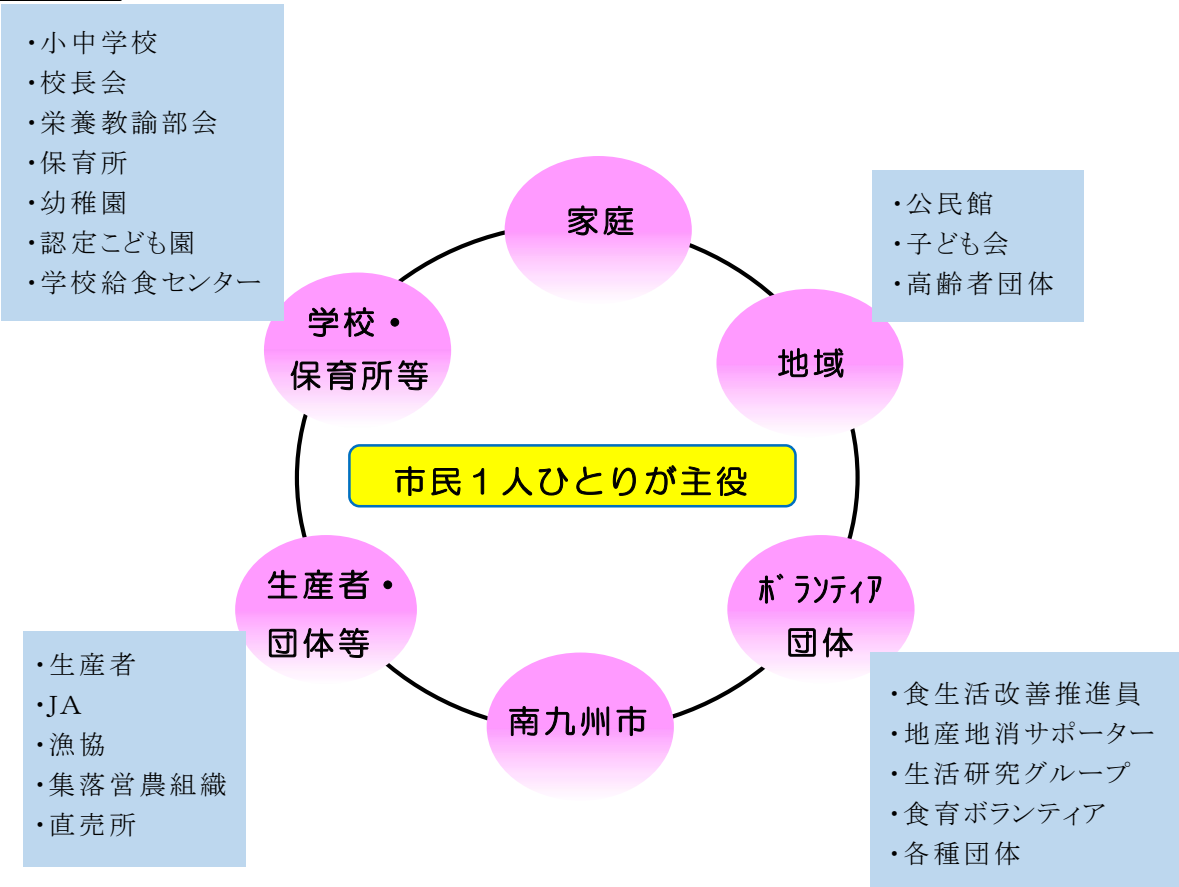
4

質の高い教育をみんなに

12

つくる責任 つかう責任

☆食育推進体制



☆取組目標

	指 標	第2期		第3期 目標値 (R9年度)
		策定時	達成状況	
1	食に関心をもっている人の割合（成人） 食育に関心をもっている人の割合（児童・生徒）	73% 50%	78% 55%	85% 65%
2	朝食を欠食する人の割合（20～40歳代）	15%	12%	5%
3	毎食野菜を食べる人の割合（成人） 毎日野菜を食べる人の割合（児童・生徒）	44% 68%	45% 71%	60% 80%
4	市町村国保特定健診受診率	56%	53%	70%
5	地産地消の言葉も意味も知っている人の割合（成人） 〃（児童・生徒）	73% 40%	76% 48%	85% 50%
6	食農教育支援所・者数	14人 （ヶ所）	14人 （ヶ所）	18人 （ヶ所）
7	かごしま地産地消推進店登録数	6店	12店	14店
8	学校給食における地場産物の利用割合（重量ベース）	41%	52%	増加